

昭和61年度

松本歯科大学学会総会記録

昭和61年度総会は6月21日(土)午後1時より、201教室において下記の次第により開催された。

総会次第

1. 開会の辞……………加藤倉三会長
1. 議長選出
1. 報告

庶務	原田 実幹事
集会	前橋 浩幹事
編集	野村浩道幹事
会計	恩田千爾幹事
1. 議事
 - (1)昭和60年度決算報告
監事報告 橋本京一監事
 - (2)昭和61年度予算案
 - (3)任期満了(2年)に伴う役員改選に関する件
 - (4)その他
1. 閉会の辞 枝 重夫副会長
(司会 鈴木和夫幹事)

加藤学会長より総会出席者ならびに準備にたずさわった人々への謝辞が述べられた。

その後、議長に、市川博保会員が選出され総会が行なわれた。

議事

1. 昭和60年度決算および昭和61年度予算が承認された。
2. 役員改選
昭和61、62年度は前年度役員全員の留任が決定した。

庶務報告

会員数

名誉会員	1名
昭和61年度正会員	1734名
昭和61年度準会員	150名
昭和61年度賛助会員	26社
会合	

庶務幹事会 4月11日(金)

全体幹事会 6月11日(木)

1. 学会発表者は会員に限るが、必要な場合、会員外の名前を共同発表者に加え得る。
2. 会費未納者には4年目以後雑誌の発送を中止する。
3. 第23回学会(例会)の開催予定日 昭和61年11月15日(土)。

以上の内容が了承された。

評議員会 6月21日(土)

1. 役員改選(昭和61、62年度)は前役員に引続き全員留任が決定した。

役員ならびに評議員(ABC順)

役員

学 会 長	加藤倉三
顧 問	矢ヶ崎 康
副学会長	枝 重夫、千野武広
庶務幹事	橋口緯徳、原田 実、広瀬伊佐夫 今西孝博、笠原 浩、鈴木和夫
会計幹事	出口敏雄、恩田千爾
編集幹事	甘利光治、枝 重夫、近藤 武 野村浩道、高橋重雄、山岡 稔 安田英一
集会幹事	前橋 浩、中村 武、太田紀雄 徳植 進
監 事	川原一祐、橋本京一

学内評議員

甘利光治	近藤 武	深沢勝彦
千野武広	前橋 浩	藤村節夫
出口敏雄	野村浩道	伊藤充雄
枝 重夫	恩田千爾	笠原 香
橋口緯徳	太田紀雄	川上敏行
橋本京一	鈴木和夫	宮沢裕夫
原田 実	高橋重雄	丹羽敏勝
広瀬伊佐夫	徳植 進	長内 剛
今西孝博	矢ヶ崎康	
笠原 浩	安田英一	
加藤倉三	山岡 稔	
川原一祐		

学外評議員

石橋威郎	安藤三男	北村実雄
亀山喜光	橋本 脩	神津 瑛
小松正隆	細川安徳	丸山 弘
待田順治	池上英雄	西田康彦

中後忠男 石塚嗣郎 桜井善忠
 鈴木 隆 市川明彦 外村 誠
 都筑新太郎 市川博保 田熊恒寿
 片倉恵男 渡辺郁馬
 北村博文

2. 河合康男氏(推薦者 橋本京一教授)の
 入会が承認された。

3. 交換図書件数(発送分)140件

集会報告

第21回松本歯科大学学会(例会)は昭和60年11月16日(土)、12時55分より本学201及び202教室の2会場で開催された。一般演題として29題の講演が行われた。(会場担当, 口腔生理, 補綴II)。

第22回松本歯科大学学会(総会)は昭和61年6月21日(土)、本学201及び202教室にて開催された。第1会場(201教室)では10時30分より笠原浩教授による“障害者の歯科保健”と題する特別講演が行われた。正午より評議員会、総会に続いて一講演30題が発表される予定である。(会場担当, 歯科薬理, 身障者歯科, 小児歯科)。なお評議員会の席上集会係より従来学会の会場担当は基礎、臨床やら各1講座をあててきたが、講座スタッフの不足の場合は、今後更に1、2の講座を追加してお願いすることもあるので御了承願いたいとの要望が述べられた。

第23回松本歯科大学学会(例会)は昭和61年11月15日(土)、開催予定である。

編集報告

前年の総会以降、松本歯学は第11巻第1、2合併号、第3号および第12巻第1号が発行された。第11巻第1、2合併号には、総説1篇、原著11篇、臨床4篇が、第11巻第3号には、総説1篇、原著7篇、臨床4篇が掲載され、第20回および第21回松本歯科大学学会講演抄録、昭和59年度業績目録などを加え総頁350頁であった。

第12巻からは年3回、第1号は4月30日、第2号は8月31日、第3号は12月31日発行となった。第1号には、原著11篇、臨床3篇が掲載され、昭和60年業績目録を加え136頁であった。(業績目録は4月30日発行の第1号に掲載されることになるため、第12巻からは年の業績目録となる。)

昨年12月4日に行われた編集会議で、懸案となっていた松本歯学専用のA4版横書原稿用紙を作ることになった。それに伴って投稿規定第3項“用紙はB列5番400字詰原稿用紙とする”とあったものを、“用紙は原則として専用のA列4番横書原稿用紙とする”と改定した。

会計報告

正会員の会費未納者が延べ1000名近くになり、事務上支障をきたす様になりました。今年度より4年以上未納の場合は未納者扱としないことになり、雑誌の発送も打切ることになりました。

会費未納者は至急送金下さいますようお願い致します。

昭和60年度決算及び昭和61年度予算書

	昭和60年4月1日より昭和61年3月31日まで				昭和61年度予算
	科目	予算	決算	差額	
収入部	入会金収入	210,000円	205,500円	3,500円	210,000円
	会費収入	6,300,000	6,642,500	△ 342,500	6,500,000
	論文掲載料収入	200,000	275,750	△ 75,750	200,000
	広告掲載料収入	500,000	656,000	△ 156,000	500,000
	受取利息収入	800,000	291,780	508,220	300,000
	大学補助金収入	1,000,000	1,000,000		1,000,000
	雑収入	50,000	2,000	498,000	2,000
	前受金収入		1,449,000	△ 1,449,000	1,400,000
	前期末未収入金				3,799,250
			△ 3,799,250	3,799,250	△ 3,500,000

収入の部	前期末前受金				△ 1,449,000
	小計	9,060,000	6,723,280	2,876,720	8,962,250
	前年度繰越支払資金	22,266,048	22,266,048		22,525,100
	合計	31,326,048	28,989,328	2,876,720	31,487,350
支出の部	人件費支出	2,000,000		2,000,000	2,000,000
	消耗品費支出	15,000	27,040	△ 62,040	30,000
	通信費支出	800,000	1,021,410	△ 221,410	1,000,000
	会議費支出	250,000	32,500	217,500	100,000
	印刷費支出	3,700,000	5,178,978	△ 1,478,978	6,500,000
	旅費・交通費支出	200,000	100,000	100,000	200,000
	雑費支出	200,000	7,400	192,600	100,000
	備品費支出	500,000	96,900	403,100	100,000
	〔予備費〕	200,000		200,000	200,000
	小計	7,865,000	6,464,228	1,400,772	10,230,000
	次年度繰越支払資金	23,461,048	22,525,100	1,475,948	21,257,350
	合計	31,326,048	28,989,328	2,876,720	31,487,350

○次年度繰越支払資金内訳

普通預金 6,727,256円
 定期預金 15,178,800円
 定期預金 500,000円
 手持現金 119,044円

計 22,525,100円

○前受金内訳

正会員 昭和61年度分 87,500円 (3,500円×25名)
 8期生 昭和61年度分 444,500円 (3,500円×127名)
 9期生 昭和61年度分 458,500円 (3,500円×131名)
 // 昭和62年度分 458,500円 (3,500円×131名)

計 1,449,000円

○会費収入内訳

正会員 5,610,500円 (3,500円×1603名)
 準会員 262,000円 (2,000円×131名)
 賛助会員 770,000円 (10,000円×77口)

計 6,642,500円

○未収入金内訳

正会員 3,405,500円 (3,500円×973名)
 賛助会員 40,000円 (10,000円×4口)
 論文掲載料 205,750円
 広告掲載料 148,000円

計 3,799,250円